

②【新潟市民病院】

住 所	〒950-1197 新潟県新潟市中央区鐘木463番地7		病床数：676床
診 療 科 目	血液内科、内分泌・代謝内科、腎臓・リウマチ科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、小児科、新生児内科、皮膚科、形成外科、眼科、耳鼻いんこう科、脳神経内科、精神科、消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、整形外科、脳神経外科、産科、婦人科、泌尿器科、麻酔科、ペインクリニック外科、放射線診断科、放射線治療科、リハビリテーション科、歯科口腔外科、総合診療内科、緩和ケア内科、感染症内科、腫瘍内科、乳腺外科、脳卒中科、救急科、病理診断科		
研修責任者名	五十嵐 修一	連絡先：新潟市民病院教育研修室 kensyu@hosp.niigata.niigata.jp	連絡先担当者名：佐藤（教育研修室）
新臨床研修医指導実績	新潟大学臨床研修病院群研修プログラム：なし 新潟市民病院卒後臨床研修プログラム 平成23年度：12人、24年度：11人、25年度：12人、26年度：11人、27年度：10人、28年度：13人、29年度：11人、30年度：12人、令和元年度：12人、2年度：12人		
研修受け入れ可能診療科		学会認定専門医数	学会認定指導医数
選択研修：循環器内科、内分泌・代謝内科、呼吸器内科・感染症内科、腎臓・リウマチ科、消化器内科、脳神経内科、脳卒中科、形成外科、泌尿器科、眼科、新生児内科、乳腺外科、耳鼻いんこう科		循環器内科5人、内分泌・代謝1人、呼吸器内科・感染症内科3人、腎臓・リウマチ科5人、消化器内科6人、脳神経内科5人、脳卒中科4人、形成外科2人、泌尿器科3人、眼科3人、耳鼻いんこう科1人、新生児内科4人、乳腺外科1人	内分泌・代謝内科1人、呼吸器内科・感染症内科3人、腎臓・リウマチ科3人、消化器内科2人、脳神経内科4人、脳卒中科4人、形成外科2人、新生児内科1人、耳鼻いんこう科1人
施設の概説・特徴			
新潟市民病院は新潟医療圏の中心的な急性期病院であり、地域の病診・病病連携の中核です。災害拠点病院、地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院、感染症指定医療機関、エイズ治療ブロック拠点病院の指定も受けています。地域に根ざす第一線の病院であり、コモディシーズの経験はもちろん、超高齢社会を反映し複数の病態を持った患者の診療経験もでき、高次病院や地域病院との病病連携や、診療所や開業医との病診連携も経験できます。当院の特徴として、3次救急を含む救急患者の豊富さがあり、救命救急・循環器病・脳卒中センターと周産期母子医療センターを併設しています。病院の理念は、[患者とともにある全人的医療]をめざすことで、ウィリアム・オスラーの言葉による「医学・医療は患者とともに始まり、患者とともにあり、患者とともに終わる」を基に、その信念を何時も全職員が忘れることなく毎日の業務に携わっています。			
研修受け入れ可能診療科の説明・研修の概説			
循環器内科：症例数が多く、広い範囲の循環器疾患が経験できます。各分野の研修施設に認定されており、専門研修が可能です。 内分泌・代謝内科：日本糖尿病学会認定教育施設です。 呼吸器内科・感染症内科：病棟・救急業務、学会・検討会を通して、技術・知識を高め、患者さん・スタッフからも頼られる医師を目指します。 腎臓・リウマチ科：すべての腎疾患に対して、病初期の診断治療から末期腎不全、腎代替療法の開始に至るまで、包括的に診療を行っている。 消化器内科：急性腹症、消化管・腹腔内出血などの救急症例が多く、各種消化器癌とあわせて、内視鏡・経皮・経血管インターベンションを駆使して治療にあたっています。 脳神経内科：麻痺重積発作や中枢神経感染症等の神経救急、神経免疫疾患や変性疾患の検査・治療を多数経験できます。 耳鼻いんこう科：耳鼻科全領域の手術を中心とした研修に加え、急性炎症や遺物、外相、鼻出血、眩暈、気道緊急などの救急医療も経験できる。 脳卒中科：脳梗塞、脳出血の超急性期治療を積極的に行っています。特に、急性主幹動脈閉塞の血管内治療は年間30～40件。（総血管内治療件数は70～90件） 形成外科：3次救急病院のため、顔面外傷に対する手術が多い。各科と連携した再建手術も行っている。皮膚腫瘍に関する紹介も多い。 泌尿器科：悪性腫瘍、泌尿器科救急疾患、尿路結石症などの研修が可能です。年間手術件数（前立腺生検含む）は約650件です。 眼科：専門は網膜硝子体疾患であり、網膜硝子体手術を年間230件ほど行っている。白内障手術は年間800件行っています。 新生児内科：総合周産期母子医療センターとして、周産期から一貫した胎児・新生児管理を行っています。超早産時の呼吸管理を含め、新生児学の基礎を学ぶことができます。			
研修受け入れ可能人数			
2人／月（各科受け入れは1人／月）			
研修医の当直			
当直は月に約4回です。 1年次研修医は17：15～24：00（翌朝までは院内待機）。2年次研修医は24：00～翌朝まで（24：00までは院内待機）、当直明けは休み。指導医とともに積極的にファーストタッチを行い、診療に対しての指導も受ける。			
処 遇			
●給与：1年次（月額）約450,000円 2年次（月額）約480,000円 別途、通勤手当、期末手当支給あり。 ●食事：なし ●宿舎：なし ●居室：研修医専用の居室なし ●図書：24時間利用可能な図書室、サテライト版 UpToDate、電子ジャーナル（欧文約60タイトル 和文メディカルオンライン）、図書司書2名 ●インターネット環境：各自の机からインターネット接続可能			